国語

国語ノートのポイント3

1 はね、はらい、とめに気をつけて書く

2 文章の内容は、イラストや図で書く

3 言葉の読みや意味はきちんと調べる

国語は、文章を読んだり、自分の考えを整理して書くなどの言葉の力をつける大事な教科です。この力は、ほかの教科の問題を解くためにも必要で、すべての教科の基本なのです。

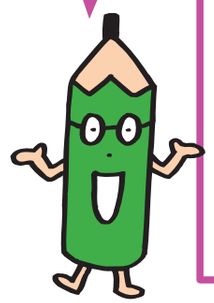
まず、授業ノートは、黒板の内容をていねいに、理解しようとしながら書きましょう。教科書に書かれた物語や説明文の内容を文章で書くだけではなく、登場人物の関係を図にしてみたり、イラストで描いてみることで、より理解が深まるノートになります。

ひらがなや漢字の練習ノートは、はね、はらい、とめに気をつけて書きましょう。また、新しく習った漢字には、読みがなをつけたり、書き順や部首を書いたりし、意味を調べて書いたりしましょう。意味や読み方を知らないまま練習していても、なかなか覚えられないですよ。

おうちの方へ
音読と模写を始めること、漢字ノートを見ること

国語は、読解力や文章での表現力を養うため、ノートを書く力に直結する教科です。お子さまの言語力に不安がある場合は、まず、おうちで教科書の音読と模写を始めてください。音読は、読み終わったあとに、親子でお互いに感想を言い合うことで、文章の内容をより深く理解することができます。また、模写をすることで、正しい文章の書き方を学ぶことができます。

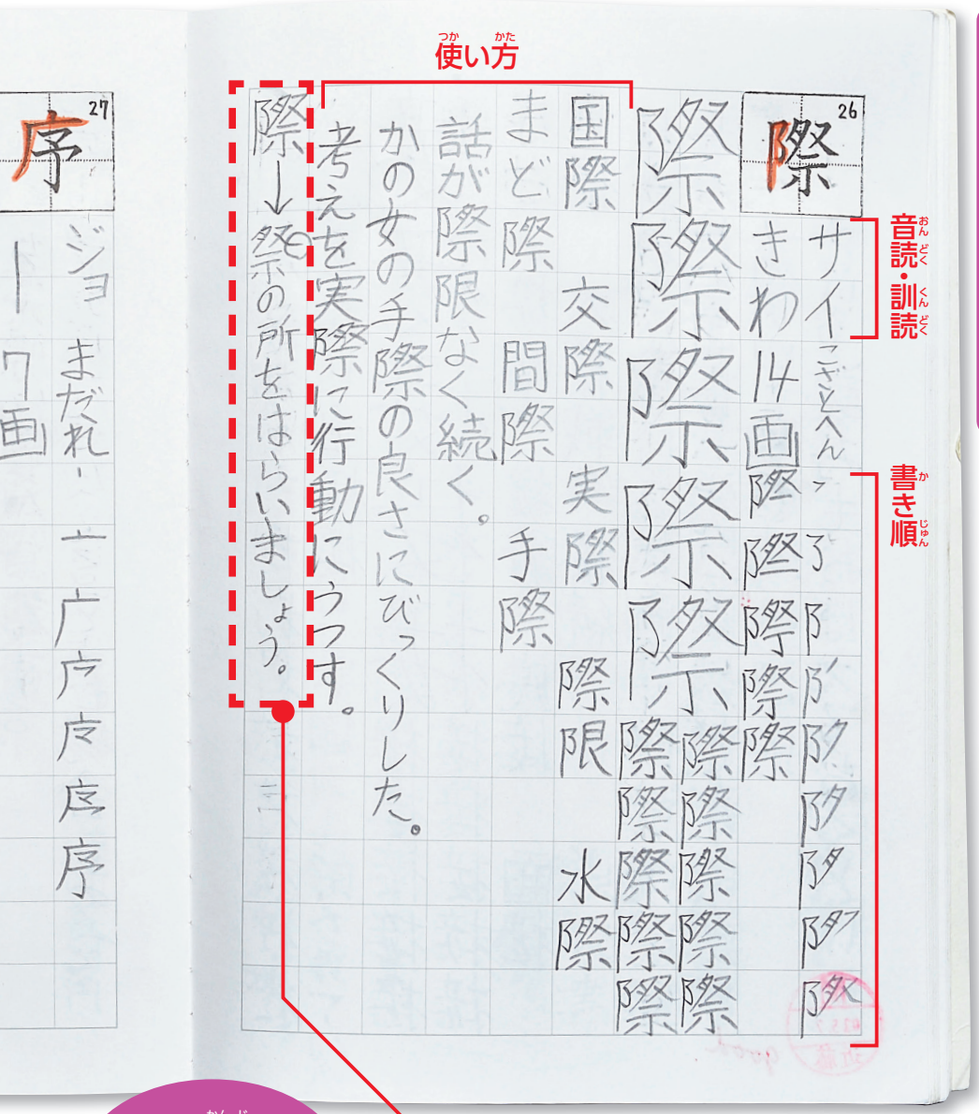
ひらがなや漢字の練習ノートは、こまめに見てあげてください。低学年であれば、はね、はらい、とめができているか、書き順は合っているかをチェックしてください。また、意味や読み方のわからない言葉は辞書で調べて、ノートに書いておきましょう。言葉を知ることは大切です。



東大生のノートを見てみよう！

辞書で調べながら書いたノート

5年生 漢字の練習ノート



ひとつの漢字でも、いろいろ調べることがあるんだね

ポイント2
注意点を書く
漢字は、はねやはらいなど小さな間違いをしがち。練習をしていて間違えやすいなと思った部分は、注意点を書いておこう。

ポイント1
辞書のように書く
辞書のように、「音読、訓読」や「書き順」、またはその「漢字の使い方」まで書くと、たった一文字から、言葉の世界が広がり、知識がふえていくよ。